
平成30年 第3回 (定例) 西 米 良 村 議 会 会 議 録 (第2日)

平成30年 9月19日 (水曜日)

議事日程 (第2号)

平成30年 9月19日 午後 1時15分開議

日程第1 認定第1号 平成29年度西米良村一般会計歳入歳出決算認定について

本日の会議に付した事件

日程第1 認定第1号 平成29年度西米良村一般会計歳入歳出決算認定について

出席議員 (8名)

1番 中武 智和君	2番 白石 幸喜君
3番 上米良 玲君	4番 濱砂 勝義君
5番 上米良秀俊君	6番 中武 勝文君
7番 濱砂 恒光君	8番 濱砂 征夫君

欠席議員 (なし)

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長 濱砂 雅彦君	書記 那須有美恵君
-------------	-----------

説明のため出席した者の職氏名

村長 ----- 黒木 定藏君	副村長 ----- 黒木 義光君
教育長 ----- 古川 信夫君	総務課長 ----- 梅本 昌成君
むら創生課長 ----- 牧 幸洋君	会計管理者 ----- 土持 光浩君

福祉健康課長 ----- 吉丸 和弘君 村民課長 ----- 田爪 健二君
建設課長 ----- 上米良 敦君 農林振興課長 ----- 上米良重光君
教育総務課長 ----- 濱砂 亨君 診療所事務長 ----- 渡邊 智紀君
代表監査委員 ----- 黒木 正近君

午後1時15分開会

○事務局長（濱砂 雅彦君） 一同、ご起立ください。一同礼、ご着席ください。

○議長（濱砂 征夫君） ただ今の出席議員は8名です。定足数に達していますので、ただ今から、平成30年第3回西米良村議会定例会2日目の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりであります。

ただちに議事に入ります。

日程第1. 認定第1号

○議長（濱砂 征夫君） 日程第1、認定第1号平成29年度西米良村一般会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。提出者の説明を求めます。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今上程いただきました、認定第1号、平成29年度西米良村一般会計歳入歳出決算認定につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

平成29年の国内経済は、アベノミクスの取り組みのもと、政府は完全なデフレ脱却を目指すとの考えを示し、しっかり成長していくための経済対策を進めており、全国的にはすごく雇用環境が改善し、景気は緩やかな回復基調が続いていると言われております。

その主要といたしましては、企業収益や有効求人倍率など雇用関係、また建設投資の動向などが挙げられますが、他方、景気と密接な関係持つ消費者物価指数につきましては、「穏やかに上昇している」から今年8月の月例経済報告ではこのところ、「上昇テンポが鈍化している」に表現を変更された経過もございます。ただ、国内総生産は過去最大の549兆円となり、株価も昨年度末には終値で2万2,764円94銭

と、年末の水準としては26年ぶりの高水準となりました。

また雇用におきましても、251万人増え、有効求人倍率は1.51倍となり、現在も全都道府県で1.0倍を超えている状況にあります。

成長戦略の分野では、いわゆるインバウンド政策により、昨年は訪日外国人客が2,869万人を超え、5年連続で過去最高を更新し、消費額は4兆4,000億円に上りました。これにより、2020年には4,000万人に達するとの目標も完全に視野に入ったと言えるようであります。

一方県内におきましては、景気動向指数は各指数ともに、景気の拡張・縮小両局面の境目となる50.0を挟んで推移しておりまして、鉱工業指数がやや低下し、消費は一進一退であったものの、観光面ではインバウンドの効果等もありまして、好調を維持していると言えると思います。有効求人倍率数は、国より若干低いものの、1.4倍と8年連続で上昇しており、働き手にとっての雇用環境も改善されてきたようでございます。一方で企業の事業所にとっての人手不足が急増していることも、事実でございます。

また我が国の経済が抱えるリスクといたしましては、国外では米中の貿易摩擦、朝鮮半島問題、トランプ政権の動向など、旧資本市場の影響、貿易や投資などの直接の影響による我が国の経済状況にも注視していく必要があると思っております。

また国内におきましては、一昨年の熊本地震、昨年の九州北部豪雨、今年7月の西日本豪雨や関西国際空港などが被害を受けた台風21号、また北海道胆振東部地震など、いずれも甚大な災害が発生し、被災地では今なお多くの皆様方の生活基盤や社会インフラが広範囲にわたって失われているところでございます。これらによりまして、被災地及びその他の被災地を取り巻く地域においては、地域経済や関連した地域の生産及び内外観光等に大きな影響を及ぼしており、1日も早い復旧・復興が望まれるところでもございます。

本村におきましては、昨年度は村所の鶴地区や、鶴瀬地区の国道の崩落が相次いで発生、村民の生活に大きく影響をきたし、大変ご不便をおかけしたところでございます。想定よりも早く復旧できたことは国・県当局や建設業など関係機関の昼夜を厭わない迅速な対応に感謝を申し上げます。そうした状況のもと平成29

年度も、幸せ度の高い村づくりを目指し、各施策に取り組み、決算を行ったところがあります。

それでは一般会計決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入合計が29億5,467万1,000円、歳出合計が28億5,307万5,000円となり、歳入合計から歳出合計及び翌年度繰越財源を差し引いた実質収支は8,901万円の黒字となりました。

財政の状況を示す指標を見てみますと、経常収支比率は前年度と比較しまして3.8%増の84.0%となりました。この上昇した原因は普通交付税の減額が大きく影響したと言えると思います。また、この経常収支比率は70%から80%の間にあることが望ましいと言われているものでございます。普通交付税が一般財源に占める割合は83.2%と、高い状況にございます。経済一般財源のうち公債費の占める割合を示す実質公債費率は0.5%上昇し、3.9%となっております。これも交付税の減額が大きく作用していると言えると思います。またこの数値が18%を超えますと、起債が制限されることとなります。

また認定こども園建設やキャンプ場施設の整備など大型事業を控えていることから、中長期的な財政需要を勘案し、できうる限り基金等の創設を図るなど、実財源の確保に努め、歳出の見直しを行いながら、計画的かつ効率的な財政運営に努めてまいりたいと存じます。

それでは主な歳入をご説明申します。

歳入総額が前年度に比べ13.0%増加しておりますが、これは新庁舎建設に伴い、庁舎整備基金を取り崩したことが大きな要因となっております。

次に歳出でございますが、歳出総額は前年度に比べ13.7%の増額となりました。歳出の主なものといたしましては、新庁舎の建設に着手したこと、それから鳥獣害対策とジビエ振興を兼ねたジビエ処理加工施設の整備を行ったこと等でございます。

また10月22日に執行されました、第48回衆議院議員選挙では惜しくも前回に続いての2回目の日本一は逃しましたものの、村民の皆さんの高い投票意識のもとに、全国2位という高い投票率を収めることができましたことは、我が村が全国に誇れることだと存じます。このほか、住環境を整備し、快適に教育に勤しんでもらえるよう

に、教職員住宅の棟の整備もいたしたところであります。財政的には厳しい中ではございましたが、平成32年4月に開設を予定しております認定こども園の建設に向け、1億5,000万円の基金積み増しをいたし、現在基金残高は2億円となっております。

また双子キャンプ場のリニューアルに向け、新たに基金を創設し、1億円の積み立てを行い、将来を見据えた財政負担の軽減を図ることといたしているところでございます。

以上、認定第1号についてその概要をご説明申し上げましたが、詳細につきましてはご質疑に応じまして、それぞれの担当課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

○議長（濱砂 征夫君） 提出者の説明が終わりました。これより質疑を行います。ここで質疑の方法をお諮りします。質疑は最初に事項別明細書の歳出から款あるいは一部の項ごとに行い、次に同じく歳入を款ごとに行い、最後に実質収支に関する調書、財産に関する調書及び付属書類を含めた全体にわたって補足あるいは総括しての質疑をすることにしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

認定第1号について質疑はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。従って、質疑は最初に事項別明細書の歳出から、款あるいは一部の項ごとに行い、次に同じく歳入を款ごとに行い、最後に実質収支に関する調書、財産に関する調書及び付属書類を含めた全体にわたって補足または総括しての質疑をすることといたします。

それでは、事項別明細書の歳出、款1 議会費について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、次に進みます。

次に、款2 総務費の質疑を項ごとに行います。

まず項1 総務管理費について、質疑はありませんか。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） それでは、報償費ふるさと納税寄付者感謝品というところで、関連の質問をしたいと思います。ふるさと納税を前に進めていこうということで、私は認識をしておるところであります。今、総務課ではどのような進捗でお話を進めているのかを伺います。

○総務課長（梅本 昌成君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（梅本 昌成君） ただ今の質問にお答えいたします。まずは西米良村での今までの実績ですけれども、ふるさと納税につきましては平成20年度の税制の制度改正によりまして、創設をされ10年を経過したところでございます。本村におきましては、寄付者に対しまして、平成26年度から返礼品を送付しておりますが、寄付額に対する返礼率は3割以内で行っているところでございます。

主な返礼品といたしましては、米とかユズあるいはジビエ商品、米良食品のもの。それから西米良サーモン等、地場産品を送付しているところでございますが、今マスクミ等で問題となっておりますけれども、制度の趣旨にそぐわないという点から、毎週のように国・県から見直しを行って欲しいという、西米良村ではございませんが、そういう事態が全国でほしい246団体、まだあるということで伺っているところでございます。本村といたしましては、ふるさとを思う大切な方々の気持ちを尊重しまして、その思いを村の活性化に役立てていこうという観点から、本制度の趣旨に従って、今後も適正に地場産品の返礼品等を考えているところでございます。以上でございます。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 今、総務課長の答弁の中にありましたように、いろんな言うことを聞かない団体があるということ、ホームページの中でも見受けられるところでもあります。ただ、ふるさと納税は何のためにつくられた制度かというのがありましたので、ご紹介をしたいと思います。

多くの人が地方のふるさとで生まれ、その自治体から医療や教育等、さまざま

な住民サービスを受けて育ち、やがて進学や就職を機に生活の場を都会に移し、そこで納税を行っています。

その結果、都会の自治体は税収入を得ますが、自分が生まれ育ったふるさとの自治体に税収が入りません。そういうことが問題視されたと。

そこで、今は都会に住んでいても、自分を育ててくれたふるさとに、自分の意志でいくらかでも納税できる制度があってもいいのではないかということから、数多くの検討や議論を経て生まれたのがふるさと納税制度だと言われておるところであります。

ここまではいいんですけども、これを過大解釈したというか、茨城県のある町では、65%の返礼品を送っていると。この65%の返礼品の中を見てみますと、ハワイのホテルの宿泊券とか、都内の料理の食事券とか、とんでもないことをやっておって、総務省がちょっと待ったということと言われ始めた、聞いておるところでございます。中には外国産のオリーブオイルとか、とんでもない物が入っているということ、みんなが「おかしいんじゃないか」と言い始めたというのが、今の騒ぎの発端であると思っております。

先ほど総務課長も言われましたように、そのまま黙って放っておいたときに、64.7%の団体がとんでもない数字で返礼品を送っておったと。平成29年に「ちょっと待った」がかけられまして、今では13.8%、先ほど言われました246団体がまだ言うことを聞いとらんというような状態になっているようであります。

ただ、先ほどどうしてつくられた制度かということにもありましたように、西米良に何らかの寄付をしたい、応援をしたいという人たちが数多くいることも間違いがない事実であります。実は私の娘も遠く離れておるところにおりますが、地元ふるさと納税をしたいのだけど、どうやっていいのかわからないと言います。もういつとき待っておけという話をしておるんですが、そういう人は私の娘だけではないと思っております。

それで、話は変わりますが、例えばイセイモ、コンニャク、シイタケ、タケノコ・干シタケノコ等いろいろ、西米良でつくる特産品があるわけですけども、これは村で生産した作物でもありますけれども、売る場所が温泉、村内の売るところでしか売るところがない。出口が小さいということで今、イセイモでもコンニャクでも、少し

下火になっているのではないかなと思っところであります。

こういう東京の食事券とか海外の宿泊券はとんでもない話ですけども、村でできたイセイモ、コンニャク、シイタケ、ジビエで鹿肉・猪肉が今は加工されておりますけれども、そういうものを送って喜んでいただける人がたくさんいるのではないかなと思っんです。それでまず販売先、出口を確保するという意味も含めて、ぜひ村でできるもの、確かに数は少ないと思っんですけども、「これだけしかありません」と言っ出してもいいのではないかなと思っんです。それでふるさと納税をきっかけに、また新しい作物をつくったり、販路を開拓したりということまでつながっていくのではないかなと思っところでございます。

実は個人的になりますけれども、うちでゆず胡椒を販売しておっところですが、とんでもない値段で売るんです。村で売る、約倍の値段で。最初私はこれは絶対に売れないと言っ切っておったんですけど、毎日注文があるんですね。少しですけども。7～8本か10本くらい、毎日毎日注文があります。これを見て、これはいいのではないかなと思っんですね。イセイモでもコンニャクでも、井戸内のサーモンでも、いろんな物を、大量にはできませんけれども、少量の物をいつからいつまで返礼品として設けますというふうにやってもいいと思っんですね。そうやって村の産業の発展、それから農地の衰退の歯どめになるようなところまで持っていけるような、そういう制度として見て、活用するのがいいのではないかなと思っところあります。それで万が一、この制度がなくなったときに、いろんなところでいろんな議論があるでしょうけど、そういう出口が残ったということになるのではないかなと思っんですね。そういうのを大きく、長い目で見て、ぜひこのふるさと納税をうまく活用して、村外の人たちから応援をしてもらっ。お金をいくつか集めるとかいくら集めるとか、そういう問題ではなくて、村をPRするというところに方向づけて、ふるさと納税の話を進めていただきたいと思っます。今後について総務課長、見解があれば。

○総務課長（梅本 昌成君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（梅本 昌成君） 6番議員がおっしゃったように、制度の趣旨から外れるわけにはいきませんので、それを守りながら、それから、ふるさとを思っ方々の気持ち

を大切に、やっていきたいと思います。

返礼品につきましては、今ありましたように、農林課それからむら創生課とか関係各課と話して、一応内部でカタログ等の作成も検討していたところでございますけれども、そういった全体を含めた課題として捉えまして、今からまた検討してまいりたいと思います。ありがとうございました。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 担当課長にお伺いいたしますが、まず最初に44ページです。備品購入において、ホイホイラインが購入されておりますけれども、これについては、村の状況を村民の方が知り得る、唯一というか貴重な情報源でありますので、大変いいことだと思っておりますが、最近利用者の方に聞いてみますと、毎日ではないのですけれども、最初の開始の音楽があまりにも大きく、長い。だからボリュームを下げていると言われるんですね。そうしたときに、せっかく聞かなければいけない情報がなかなか聞き取りにくい。ボリュームを上げに行けばいいのだけれど、面倒くさいからそのまま、聞き取れなかったという状況が発生しております。逆に音が大きくて、ホイホイラインが始まったという、これを利点として喜んでいる方もおられます。ぜひともオフトークをよりよい環境で聞いていただくために、村民の方に、この音楽はどの長さがいいのか、どういうのがいいのか、音量はどのくらいかというのを、意見を聞いて、よりよい環境で放送していただければと思いますけれども、課長の考えをお伺いしたいと思います。

それと46ページなんですけど、村有施設建物災害保険料が当初の予算から見ると、36万4,000円減の267万9,000円と減っておりますけれども、保険料が、当初積み上げた時はある程度建物もはっきりしておったと思いますけれども、減った理由をお願いしたいと思います。

それとあと1つなんですけど、40ページの旅費ですね、これが56万7,000円ほど使用されておりますけれども、職員に対してどのような研修を受けさせられたのか、お伺いしたいと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） それではお答えしたいと思います。まずホイホイラインにつきましては、役場の若手職員を中心に放送担当を決めまして、毎日放送を録音して流しているというような状況でございます。基本的に放送の入力レベルは、こちらで基準を設けておりまして、機械を動かさないように、ボリューム調整を止めてしておりますので、一応録音としては、一定音量でしていることになっております。録音のレベルも画面が出ますので、それを見ながらすることにしております。あとは、各家庭におきまして、端末の音量調整が、それぞれ調整できるということで、例えば私たちの方で抑えると、通常小さく設定されている場合は余計に小さくなるということが、どうしても出てくるということで、基本的にはこちらで毎回、同レベルの入力をするようにということで、指導をしながら進めているところでございます。放送の長さ、もしくは音楽の種類とか、そういったご意見もいろいろと聞いておりますので、そういったことも意見として踏まえながら今後の選定また、録音の仕方についても検討してまいりたいと思います。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 補足します。今のは訂正します。最近はボリュームが大きすぎです。1にしておっても大きいんです。それは我々の方が聞く側に立って調査していないからです。機械にセットしていれば全部一緒と思っているんですよ、やる方は。聞く方は違う。最近は大いんです。これは私も経験していますが、ずいぶんいろんな人から、この前の敬老会で言われましたし、私もそのとおりであります。前から屁のような音楽をかけるなどかいろいろ言っていたんですが、最近は言わないことにして黙ってるんです。するところいう状態になってしまうものですから、やっぱり言わなきゃいかんかなと、今思いながら、座って、聞きました。確かに議員がおっしゃるとおり、もう少し聞く側に立って調査をして、そしてボリューム調整いたすように指示したいと思います。すみません。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 先ほどのご質問にお答えしたいと思います。村有施設等の建物災害保険の減額についてでございますけれども、言われるとおり、庁舎の取り壊

し等の関係で、当初からそういった部分は含めて予算を計上するところなんですけれども、その時期というのが、いつになるのか、計画通りにいけばよかったんですけど、若干ずれるところがありましたので、その辺も見込んで、実際に取り壊しになってからの解約ということになりましたので、その分を補正で減額という対応をさせていただいた、というところです。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（梅本 昌成君） 職員の研修についてですが、当然ながら新規採用職員については前期と後期と、去年は6名おりましたが、それぞれ研修しております。それから、いわゆる主事、主査、課長補佐とか課長とか、職名に応じた研修にも参加させております。それから、各職員の個人の今までの研修実績というものがございますので、それに照らし合わせて、まだ行っていない研修には参加するようにして、研修を行っているところです。以上でございます。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） ありがとうございます。職員の研修をなぜ聞いたかといいますと、数年前に、西米良の地場産業、例えばピーマンとか、そういうところに新規採用職員を研修させたらどうか、そして西米良の実情をわかったらどうか。そうしたら、いいですねと言われたから、お聞きしたんですけれども、それについては、されていないんですか。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（梅本 昌成君） 研修実績一覧があるんですけど、去年は、見てみると該当がないようなんですけども、今年は9月の、もうすぐですけども、10月ぐらいにそういう計画をしているところでございます。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） ありがとうございます。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 担当課長にLED電気料のことで伺いたいと思います。

平成26年に、10年間リースということで村道2号線、トレーニング施設、健康増進広場、山村広場に設置がなされております。一般の電気料と比較して、LEDにしてこの4年間にどれくらいの差というか、それがわかれば教えていただきたいと思えます。

○村民課長（田爪 健二君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今のご質問でございますが、今現在、今言われました4施設についてのリース料を、村民課の方で一括して支払いをしていますので、そのうちの健康増進広場と村道2号線の該当部分について、ご説明をさせていただきたいと思えます。

言われるとおり、LEDを設置してから電気料についてはだいたい2万円から5万円の減額になっております。村道2号線については26年の10月に設置をしたわけですが、25年度の年間の電気料と29年度の電気料を比べたら、約半分。25年度は約39万円だったのが、29年度においては約19万円、それくらいまで抑えることができしております。ただ増進広場については、トイレがある関係で、浄化槽のプロア一関係の電気と、県が設置していますPM2.5の観測機の電気料も含まれておりますので、一概にはどれくらいとは言えませんが、2万円から5万円の間に減額できているという状況です。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） 私の方からトレーニング施設、それから山村広場の方の状況についてご説明したいと思います。26年度の1月からLED化ということで、26年度の4月、12月分の電気それから電気使用量と比較して、26年度におきましては、使用電力量は26%減の2,571キロワット、減少しております。電気料にしまして17.6%減の7万6,000円ぐらいの減となっております。28年度については使用電力量の方が638キロワット伸びているんですけども、使用料につきましては約3万円の減となっております。29年度ですが、使用電力量で592キロワットの減、電気料にしまして約3万円の減となっております。ただ、トレーニン

グセンターの方が、実は漏水がございまして、中の水を送るポンプが常時稼働するという状態が28年度、29年度は続いておりまして、29年度中にその箇所を特定しまして、修理を行いましたので、今年度につきましては順調に使用量それから電気料も減額という形になっております。

それから山村広場ですけれども、27年度が約44.7%減の5万1,000円ほどの減。28年度が全体で2万3,000円の減。29年度が3万7,000円の減というふうに、全体として下がっているという状況が見て取れるところです。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） ありがとうございます。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 47、48ページ、これは確認になろうかと思えますけれども、担当課長にお伺いをいたします。備品購入ですが、旧板谷小学校収納棚購入代28万8,684円。これは備考欄に説明が書いてありますが、2点、同じ金額、同じ名目で上がっておりますが、これは同じものを同様に買われたのかの確認。それと旅費一番下ですけれども、費用弁償とございます。これは対策関係の費用弁償ではないかと思いますが、費用弁償でありますので、職員の方の旅費ではないということで、どのような形で費用弁償として支払われたのかについて、伺いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。おっしゃるとおり、これは同じものを2つ購入したということになります。当初の計画で予定をしておりました収納棚で購入をしたのですが、実際に板谷小学校に設置をした際に、思った以上に書類等が多くて、また同じものを同じ金額で購入をしたところですので。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） それでは費用弁償についてお答えしたいと思います。費用弁償につきましては、総務管理費の企画費に属されます、所管の委員会の委員の費用弁償、そういったものと、地域おこし協力隊がいろんな研修等に出張する際の出張旅費をこちらの費用弁償ということで出しております。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 2件とも了解をいたしました。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それでは担当課長にお伺いをいたします。49、50ページになります。地域づくり推進事業ということで前田先生の方に委託事業が上がっております。これにつきましても、もうずいぶん長く前田先生にお願いしている事業になろうかと思うんですけども、29年度はどのような事業内容で委託を行われたのかという点について、お伺いをしたいと思います。

それから再生エネルギー活用業務研究業務委託料ということで、こちらはユズ残渣の蓄電池ということで実証・実験等をやられているかと思うんですけども、その結果と今後の見込みについてお尋ねをいたしたいと思います。

あと1点、住民参加型むらづくり推進ファンド事業補助金、これについては予算の総額が多分ファンドの方で決まっていたのではなかったかと思うんですけども、今後のファンドの事業の活用等についての方向性をお願いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） それではお答えしたいと思います。まず地域づくり推進支援の業務委託料280万円につきましては、おっしゃるとおり、リーズナブルプランニングの前田先生の方に観光そして地域振興関係のアドバイス業務として委託を行っているものでございます。昨年度の実績につきましては、村内の総合的な平成の桃源郷のむらづくりに関する支援・助言業務ということでお願いしておりまして、それに関する資料、助言の報告書そういったものの作成が35回、資料を提供いただいております。また上米良の地域の薬師の里づくりというのを今、進めておりまして、そういったものへのアドバイス業務も含まれております。また訪問調査ということで、年間に5回、延べ11日間来村していただきまして、直接意見交換、またアドバイス業務を受けているということでございます。また、関連ではありますけれども、昨年度からキャンプ場のリニューアルにつきましても進めておりますけれども、

そちらについてもこれまでの観光振興の関連性も踏まえまして、一緒にアドバイス業務を受けているところでございます。

次に、再生エネルギーを利活用した事業の委託の関係なんですけれども、28年度、29年度2カ年かけまして、ユズ残渣を活用しました再生エネルギーの活用事業ということで研究事業を進めてもらっております。28年度につきまして、ユズ残渣を使った蓄電池と太陽光を組み合わせた照明機器を試作をいたしまして、現在温泉のところには街灯として設置をしております。29年度、その中に設置しております蓄電池、いわゆるユズ残渣を炭化させてキャパシタという蓄電池をつくるんですけれども、その性能の高度化を進めておりまして、端的に申しますと、コンパクト化、容量の拡大化は進めておるところでございます。ただ、今研究を中心に一緒に進めております福岡工業大学、そして実務を行っておりますハマテックさん、西米良村の3者で進めておるところなんですけれども、研究事業ということで、その精度を高めていけば、多分果てしなく続いていくということもありまして、それをずっと続けていくのかということもございまして、いったんここで29年度をもって研究事業としては止めているところでございます。また今後、こういったシステム等を活用いたしまして、何か新たな、西米良村内の照明機器に応用ができないか、そういったものを検討してまいりたいと考えておるところでございます。

あと、住民参加型のファンド事業につきましては、こちらも28年度、29年度、そして今年度ということで3年目を迎えておりまして、住民が直接、自発的に参加する事業につきまして、支援事業ということで行っております。こちらにつきましては、合計5カ年の事業ということになっておりまして、残り2カ年ということになっております。村としましても住民の方々の直接的なまちづくり、自分たちが住みたいというようなむらづくりを支援するという趣旨でうたっておりますので、それにつながるような活動に対して支援を行いながら、この幸福度の高いむらづくりに資するような形で取り組んでまいりたいと考えておるところです。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 了解しました。ユズ残渣を使った蓄電池というのは、せ

っかく研究をなされたということでもありますので、ぜひ、ある程度実用化といいますかいろんなところに活用いただければと思うんですが、生産コストとかそういった面を考えたときには、どのような状況になっているのでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 生産コストにつきましては、研究資料としましては、研究事業にかかったコストと機器を製造するコストも踏まえてキャパシタという蓄電池を何層も重ねて、そういう蓄電池をつくるんですけども、1セットをつくるのに21万円ぐらいかかっていることになっております。ですので、それを踏まえて、機器の設置までをすると、例えば1台の街灯照明をつくるとしても、さらにかかってくるということになりますので、それが現実的な民間の事業ベースにののかかるところも踏まえて、今後も検討・研究にかかわっていきたいと考えております。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 了解しました。こういった類のものは、大量生産というかある程度生産をかけてあげないとコストは下がってこないということになるのかと思います。せっかく残渣を使って発電するという、画期的なものだと思いますので、広くいろんなところと情報発信等を行っていただいて、日本だけではなくて、よその国でも使える技術になるものなんだろうと思いますので、ぜひそういった点で活用を今後検討していただければと思います。それ以外については了解しました。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 50ページの、空き家改修事業補助金、これは登録件数が3件だと聞いておりますけれど、これの利用はどうなっておりますか。教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 移住の補助金につきましては、空き家バンクに登録されているもので、実際に今から改修して住むものに対して補助金を交付することにしておりますので、実際に補助金が交付されたところにつきましては、既にお住まいで、利用しているということになっております。ちなみに空き家改修について使われたと

ころについては、小川で1件、竹原で1件、そして八重地区で1件の3件ということで、合計が48万3,000円ということになっております。以上です。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 了解しました。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 空き家対策について質問いたします。現在3世帯の方が空き家を探しておられるようでございますが、なかなかありません。現在空き家バンクに登録している場所を教えてくださいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 空き家バンクの登録件数につきましては、これまでの登録数で17件ございます。小川地区で5件、越野地区で1件、村所地区で5件、竹原で2件、上米良で2件、八重で2件ということ。あと空き店舗ということで、村所に1件ということで、登録がされています。このうち契約済み、いわゆる使用されているところが7件、また、登録をしたが抹消したというのが2件というような状況になっております。現在、移住・定住対策として空き家バンクの登録等を進めているところなんですけども、実情としてはなかなか住むことができる状況のいい建物が少ないということで、私たちも納税の通知等で、村内外に空き家の提供をお願いしますというチラシを配ったりとか、そういうことを実施はしているんですけども、なかなか新たな条件のいい空き家が集まってこないということで、そういった受け入れのものが無いがために、移住相談が進まないということもありますので、今後とも空き家の提供についてPRをしていながら、また、皆様に情報提供をいただきながら、進めてまいりたいとおもっております。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） さっき小川でキャンセルがあったとお聞きしたと思うんですが、その方がどこかいいところがないかと探しておられるような状況でございます。実際に課長の方で空き家を見て、これならちょっと修理をすれば入れるのではないかとというようなところがあれば、入られる人が決まる前に修理をして、準備してお

くと物事が捗るのではないかと考えます。実際に今2人、探しておられるようがございます。実をいうと上米良の1件、予定があったんですが、まだはっきりしておりません。そういうところで、空き家はないかと待っておられる人もいるようがございますから、ぜひ早めに手を打ってもらいと、また移住してこられる人がどんどん増えるのではないかと考えますので、よろしく願いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 今いただきましたご意見を参考にしながら、進めてまいりたいと思います。なお小川の方も、ぎりぎりまでこれで入居できるだろうということだったんですけども、家主さんの急な意見の変更で破談になったというか、そういった経緯もございますので、私たちも丁寧に移住相談等を、移住者に対して、また家主さんに対して行っておりますので、引き続き進めてまいりたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） ほかにありませんか。なければ、次に移らせていただきます。

次に、項2徴税費、項3戸籍住民基本台帳費、項4選挙費、項5統計費、項6監査委員費は一括して質疑を行います。53ページから61ページまでです。これについて、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） それでは、次に移ります。

続いて、款3民生費について、質疑はありませんか。61ページから71ページ。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 担当課長にお伺いします。64ページです。ボランティアセンターの運営資金が416万1,000円ほど使用されておりますけれども、ボランティアセンターの村民の方々がこの施設に対して、どのように何件ぐらいの利用状況があったのかをお伺いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） このボランティア運営補助金416万1,000円のことだと理解しておりますが、これにつきましては、社会福祉協議会に委託しているものでございまして、この経費の使われ方としましては、社会福祉協議会の職員1名

と臨時職員1名の人件費、給与費、共済費等となっております。実際にこれにどの人数が入っていますかというのは、社会福祉協議会の方に確認しないと、今のところ理解していないということがありますので、また後ほどご回答させていただくといくことで、お願いしたいと思います。失礼いたします。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 了解しました。勉強不足で申し訳ありません。ただ、ボランティアセンターが社協に委託がそのままいつているにしても、後からでもいいですから、村民の方の利用状況を教えていただければと思います。よろしくお願いたします。

○議員（3番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 69、70ページの使用料および賃借料のところ、業務用ストーブ延長コードということで、8万8,128円上がっておりますが、これはどのような物なんでしょうか。教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） ただ今の質問にお答えしたいと思います。業務用ストーブ延長コード賃借料ということで、書かせていただいております。これはふたば園の冬のクリスマス会を、例年集落センターで行っておったわけでありまして、庁舎改築に伴いまして、役場の本部が入っておりますので、そこが使えないということで、昨年度につきましては、トレーニングセンターで実施をさせていただいております。それに伴いまして、非常に寒いものですから、これを見ますと延長コードだけを借りたように見えますが、電気ストーブと延長コードで8組ほどをリースしたところでございます。以上でございます。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 担当課長に伺いますが、高等学校修学支援手当ですか、これは何名分のものでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） ただ今の質問にお答えいたします。高等学校等修学支援手当につきましては、850万7,800円出ささせていただいております、すみません、すぐに人数というのが出ないんですが、高校生1人に当たり、1月3万円を支給させていただいております。その3万円の12カ月の人数分ということでございます。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 何名分というのは把握はしていないわけですか。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） ただ今の質問にお答えいたしますが、計算いたしますと、約23名。23.5名ですから、途中までという方もいたんだと思いますが、約23名ということになります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） それでは次に進みます。

款4衛生費について、質疑はありませんか。73ページから79ページ。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 2点お伺いいたします。まず1点目が予防費の需用費、74ページです。予防接種ワクチン代、フッ化物洗口とありますが、始まってもう10年ぐらい経つと思いますが、結果はぼちぼち出たのではないかと思います、いかがでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） フッ化物洗口の効果についてお伺いだと思います。フッ化物洗口につきましては、3歳児以上の保育園児につきましては平成12年度から、小・中学生につきましては平成20年度から開始をいたしております。フッ化物洗口の効果につきましては一般的に、虫歯原因菌をつくり出すものに作用する。それから、初期虫歯の治療になる。それから、歯を強くすると言われておりますが、その効果につきましては、実は20%から30%ほどで可能性があるとも言われております。以

前、西米良村でも効果判定を行ったところではありますが、分母が少ないというか、子供の数が少ないものですから、効果があると言い切れる結果は出なかったと聞いております。しかしながら、全国的なデータを見てみますと、フッ化物洗口を長く行っている人の方が虫歯にならない効果が見られているということでございます。加えて、フッ化物洗口をやることによって、歯の健康に対する意識が非常に高まっております、いちばん効果があるのは歯磨きだと言われておりますけれども、親子で歯磨きをするということも、意識付けになっているということが、西米良の歯の健康につながっているとも思っておりますので、このフッ化物洗口につきましても今後も継続していきたいと考えております。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 永久歯が全部生え揃ってからでないとも効果がわからないということも聞いたことがあります。西米良にも定住の歯科医師さんがおられますから、20歳の成人を区切りとして歯の検査をしてもらって、結果を出してもらって、今後このフッ化物洗口が長く続くのではないかと考えますので、ぜひそういう対応をとっていただくといいのかなと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） 確におっしゃるとおり、乳歯の段階で虫歯がたくさんだった子が、生え変わって永久歯になって虫歯が1つもないという例も、村内でも見られております。それも1つのフッ化物洗口の成果かなと思っております。おっしゃったとおり、成人になるくらいに確認すると、その成果もわかりやすいと聞いておりますので、ご意見も参考にしながら今後進めてまいりたいと考えております。よろしく申し上げます。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） もう1点お伺いします。これは農林振興課長でしょうか。ちがう。建設課長かな。78ページに、一般家庭飲用水施設整備事業の補助金がございます。村所3件、小川1件とありますが、前にも1回質問したところではあります

が、実際に家に住んでいないとこの対象にならないということがあります。ですが、グリーンツーリズムとかいろいろ頑張っておられる方もいます。作小屋で。そういう、作小屋を有効利用しておられる方に限っては、補助対象にしてもいいのではないかと考えるわけですが、課長の見解はどうでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 敦君） ただ今の質問にお答えしたいと思います。原則居住している区域ということで、この事業を行っております。過去にも何件かそういう事例がありましたけれども、説明をしていただいて、ご辞退をさせていただいている現状でありますし、必ずしも居住されている区間が終わっているわけではないと思っておりますので、今のところはまだできる方向ではお返事ができないのかなと思っております。以上です。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） だいたい各世帯この制度が行き渡ったのではないかと考えます。あとは作小屋を利用して頑張っておられる人たちは、いちばん大事な水がないと何も行えないわけでございます。この制度をもう1回振り返って、よりよい方向にさせていただくというのではないかと思います。村長がおられますから、村長にお伺いいたします。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 充足率というか、もうあまりないかな。確かにない？（周囲に問う）住調査をもうちょっとやります。そして、住調査で今現在住んでらっしゃるところを優先したいと思います。そうしませんと、毎日ですから。その次に、生産の根拠とか、時々作小屋に行っているいろいろなことを、おっしゃるとおりのこともあるでしょうから、できる限り高いレベルで、現状住まわれるところを整備し、できたら次のステップと考えるべきではないかと、今はそう考えております。もう遠くない将来だと思えます。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 実際、どこでもですがユズの収穫時期とか、田圃の時期とか、必ず作小屋に行くわけです。そのための作小屋でございますから。泊りがけで作業をされることもあります。泊りがけになりますとやっぱり、風呂にも入らにゃいかんし、食事をつくってご飯も食べにゃいかんというような感じですから、一通りこの制度が行き渡ったら、その次はぜひ作小屋にもこの制度が適用になるようにひとつ、努力をよろしく願いしておきます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） ここで、暫時休憩といたします。

午後2時21分休憩

午後2時35分再開

○議長（濱砂 征夫君） それでは休憩前に引き続き、会議を再開します。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） 先ほどご質問いただいて回答できなかった分について、回答させていただきます。64ページの負担金補助及び交付金の中の、ボランティアセンター運営補助金についてですが、先ほど補助金の内容というか、金額の算定についてはご説明したとおりですが、このセンターで何が行われているのかということで申し上げますと、ボランティアをしたい方と、してほしい方といった方々のマッチング事業をやったり、ふれあい交流事業の中で、JA女性部の方がボランティアに来てくれたりとかそういったもののマッチング事業。また青年主催の橋の日というのがありますが、そういったものとか、各神社の清掃作業、事業、そういったものにボランティアを派遣している、そういった事業をしているということでございます。

それからもう1つ、68ページの扶助費の中の高等学校等修学支援手当のことでございますけれども、この人数につきましては24名でございます。23名がいわゆる高校に通っている方、1人が通信制の高校に通っている方でございまして、通信制の方につきましては、交通費といったものを outsourcing させていただいておりますので、端数が出ている

ということでした。すみません、不勉強で回答が遅くなりました。以上、回答といたします。

○議長（濱砂 征夫君） よろしいですか。

それでは、款6農林水産業費の質疑については、項ごとに行います。

まず、項1農業費については質疑はありませんか。79ページから89ページ。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 負担金、補助及び交付金の中の、ビニールハウス等修繕補助事業36万4,000円ありますが、この前担当に聞きましたところ、一部の補修では駄目だと、全体を補修するという意味で補助金を組んでおりますということでしたけれども、例えばサイドビニールが破れたとか、そういう時には駄目ですかと聞いたら、それは該当しませんということでした。本体のビニールが破れた時には該当になりますということでしたけれども、これは「修繕補助」という名目になっておりますから、例えばサイドとか谷とか一部の修繕でビニールを使いたいということでは該当しないものかと思うのですが、担当課長はどのようなお考えでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） ビニールハウスの修繕につきましては、おおむね3年を経過して修繕するというところで計画しております。今のお話ですけど、全体が破れたときに修繕するのが普通ですけど、サイドということも考えられますので、今後は予算を見ながら検討したいと考えております。以上です。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 3年経過したというのでよく使用しているところではありますが、普通のビニールは毎年替えるビニールもありまして、ポリのビニールだと約10年持つものもあります。少々高いんですけども。それが途中、サイドが破れたり谷が破れたり、つまんだ方が破れたりということがあって、本体は大丈夫だけれどもということがありますので、今課長が言われましたようなことで、部分的な、それは5,000円とか1万円2万円ぐらいの補修は自分でやりますけども、ちょっと高額

な補修になるなという時については、検討を加えていただければと思います。どうぞ
よろしく申し上げます。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 86ページになりますけれども、ワーキングホリデー運
営委託料ということで32万4,000円上がっておりますけれども、昨日の米良
の庄の全協の中でも営業報告の中で、平成29年度につきましては受け入れが5件、
人数が5人、活動日数が16日ということで報告をしていただきました。内容等につ
いてもわかっておりますが、ワーキングホリデーと関連して今、米良バイトの事業も
実施されていると思っております。今年で2年目になろうかと思っておりますが、このワー
キングホリデーと米良バイトの関連、違いを伺いたいのと、今後米良バイト、ワーキ
ングホリデーとの連携、棲み分け等を今後どのように発展させていこうとお考えなの
か、担当課長に伺います。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） それではただ今の質問にお答えしたいと思います。米良
バイトにつきましては、昨年度から実施しているものでして、通常の、一般の方に広
く……。事業形態におきましては、かなり類似はしているんですけども、米良バイト
の特色は、夏休みとか学生が動ける期間の、学生に対して募集をかけて動いてもら
うというところが、これまで学生というよりも一般の方に募集していたワーキングホリ
デーとは違った取り組みと考えております。同じ農家さん、あるいは西米良村内の加
工施設等で働いていただく、そして地域の方の振興に役立っていただくということに
ついては、同様の趣旨ではございますけれども、そういった対象の違いがあるというこ
とだと思っております。特に学生については、西米良には来たことがないという学生
がほとんどですので、来ていただいて、西米良を楽しんでいただいて、将来のファン、
そしてまたいろいろ出ています今後の西米良の力につながればと考えておりますので、
ワーキングホリデーについても米良バイトについても、それぞれ募集をかけさせてい
ただきまして、今後も継続してやっていきたいと考えているところでございます。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。今後農林が持っておりますユズ団地等も本格的に収穫の時期を迎えると、かなりの労力が必要になろうかと考えます。そういった学生の、体力を持った若い人たちの力というのも、これから本当に大事になってくると考えますので、ぜひこの事業についても継続していただきたいと考えます。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではお伺いをいたします。84ページになろうかと思えます。畜産の関係なんですけども、経済性支援補助金ということで計上がなされております。これについては機械器具購入であったかと思うんですけども、今現在畜産センターについては、お一人の方がおやめになって、今2人でやられているということで、1人が非常にやる気が溢れている方で、規模を拡大したいという話もよく聞くところであります。1人やめられた方の分が施設として空いているので、最近何頭か入れさせてもらってやっていますという話も聞いたところではあるんですが、今後畜産センターの経営と言いますか、やり方としましては、引き続きやっぱりどうしても3名でやらなければならないのか、それともそういった規模を拡大したい人がいれば、その人に施設を使っていただいて、経営規模を拡大していても大丈夫なのかとか、そういった点について今後どのようにお考えなのか、お伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、実際畜産センターにつきましては、おっしゃったとおりですけど、1名やめられて、今畜産センターは2名でやられています。西米良村の畜産の親牛が今65頭。そして畜産センターだけで35頭と25頭となっておりますけれども、実際にあそこは経済連のリースの品物でありまして、リース事業でやっているわけですけど、15年の償還で、あと5年の償還が残っております。村としても新規就業者を募集しておりますけど、牛の値段が高くて、経営的に難しいということで、なかなか人も来ないという状況になっております。農協、県などと相談しながらやっていくわけですけど、今田爪さんが入っておられますけど、

規模拡大ということで、今25頭ですけど30頭から45頭ぐらいまで増やしたいというような話もあります。実際にそういう形で増えていくのがいいんですけど、また、考えとしては、新規就農者がいればそこを明け渡すというような形で経済連とも話しておりますので、今後は、募集をかけながら、もしおられなかった場合は入っていただくという形態になろうかと思えます。今のところは、村としても募集をかけるということで進めたいと考えております。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 施設を遊ばせるよりもやはりそこで生産をされる方がいらっしゃるのだったら、積極的に使っていただくのが、施設としてもいいものだろうと思えますので、ぜひ柔軟な対応をとっていただいて、あとは新規で就農される方がどのタイミングで来られるかによっては、そこに入れた牛がどうなるかという話も当然出てくると思うんですけども、そういったところで齟齬が出ないように今後、進めていただければと思います。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 担当課長にお伺いいたします。90ページの双子キャンプ場整備費のことなんですが、1億円の積み立てがありますけれども、公表されることができれば、どのような施設に整備をされるのか、また今後のスケジュール等についてお伺いをいたします。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） それではただ今の質問にお答えしたいと思います。キャンプ場のリニューアルにつきましては、今検討段階で、構想、計画等をつくっているところでございます。現在庁舎建築そしてその翌年度に認定こども園の整備ということがありますので、村が抱えております大きな公共工事として、それ以降、32年度以降ということで考えているところでございます。それに向けて検討を行っているという状況になっております。整備の内容につきましては、またコテージ等の老朽化等もありますので、新たな宿泊棟の整備を考えております。その内容につきましては、

検討段階ということです。またキャンプ場に降りるまでの坂がかなり急勾配で利便性が低いということです。さっそく今年度から、取り付ける入り口のところ、山手側の削り取りもスタートしておりますので、その坂道を延長して勾配を緩やかにするという作業もする予定になっております。また、大きな工事になろうかと思いますが、地盤工を今の駐車場ぐらいの高さに全面を上げて、大きくフラットな面をつかって、そこに宿泊棟などの設備を整備するという事で考えております。現在、先ほど申しましたコンサルティングの指導の方と県、役場の企画担当課、建設担当課で内部検討会を立ち上げまして、早速先日第1回目の会議をして意見交換をしております。もう一方、米良の庄にも入っていただいて、検討会をスタートさせているところでもありますので、そういった中でその内容を詰めてまいりたいと考えているところでございます。以上です。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） ありがとうございます。30年度以降の着工ということで、そうした時に、整備が終わるのはだいたいいつごろで、皆さん恐らく新規リニューアルしたキャンプ場を待っていると思いますし、米良の庄も大きな期待を寄せられていると思いますが、いつごろの完成見込みを思われているんですか。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 32年度以降のスタートということになりまして、工事の内容からしますと、まず地盤工を上げないといけなくなっております。その地盤工を上げるために護岸の整備が出てくると考えられまして、県の方とも協議をしているところでございますが、そういったところを踏まえて地盤工を上げる、そして敷地造成をする、建物を建てるということになりますと、2年、3年近くかかる可能性もあるのかなと考えております。それ以上かかる可能性もあるということで、最終的な全体像が完成するのはもっと先なのかなと。ただキャンプ場コテージの一部はできれば運営をしながら工事を進めていければということを検討しておりますので、その進捗のやり方については内部検討委員会等で県と踏まえながらやっていきたいと存じます。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 基本に関することですから私の方から申し上げます。まず整備する理由。これは西米良のいわゆる誘客力がもう飽和状態になっている、これをどこから打開するかということでございます。もちろん西米良の魅力づくりをして来てもらうということもそうですが、来ていただいた方が泊まる場所もなければならぬ。それからインバウンドあたりが将来我々のところにも足を伸ばしてくれれば、そんなに受け入れができない。それからちょっとグレードの高いもの、しかも今ほとんどシングルですから、ペアが最低でしょう。それ以上というのはほとんどございませぬから。そういう地域社会のニーズに応じた受け入れ体制を整備するには、まずあそこかなと思ったところであります。従いまして、大きく言いますと、1期工事と2期工事に分けざるを得んのかなと、ちょっとありましたように、営業しながら、こちらをしていくとなると、こちらができたらしこちらをするということ、できたらし今のキャンプ場と言いますか、もう、キャンプ場ではないんですけど。カリコボーズの宿を全体の構想を練って、その中でどう位置づけるということにして、いわゆる雇用力も、あそこで雇用ができるという形にしたいと。そして恐らく村所もこれからずっとたくさんの人を泊めるような施設が、継続したり新しくできるというもの、なかなか難しゅうございますから、あそこにある程度のレベルのものをつくって、そこで集客ができる。地域で200人300人の大会をしても、この西米良に泊まれない人がたくさん出ると。せっかくやってもそういう大会もできない。そういうこと等もありますから、やっぱりそういうニーズに応えられる受け入れ体制を、あそこを中心にまず村がやるべきだろうと考えましたので、今言いますように検討委員会の中で検討していくところでありまして、それにつきましてはもう少し固まってきました、先が見えるようになりましたら本議会にもご報告し、またご意見をいただきたいと思っておりますので、ご理解賜ればと思っております。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に移ります。

項2 林業費、項3 水産業費を一括して質疑を行います。89ページから97ページまで。

質疑はありませんか。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 担当課長にお伺いいたします。92ページの公有林整備事業についてなんですけども、林業費で、皆伐が出てきております。間伐と皆伐があるんですが、皆伐の方です。中之藪の方が2ヘクタールの皆伐で、事業費が587万8,000円。歳入のところを見てみますと、これに対する収入なんですけども、546万5,000円。それと小椎尾が皆伐0.5ヘクタールで事業費が259万4,000円、歳入が204万6,000円で、2カ所とも事業費が上回っております、収益が上がっていない。そして事業費がふつうのだしの単価と比べてみた時、若干割高な感もいたします。なぜこのような結果になったのか、担当課長にお伺いをいたしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、94ページの中之藪と小椎尾の関係ですが、中之藪につきましては2.0ヘクタールと小椎尾につきましては0.5ヘクタールということであります。これは皆伐の森林組合の受託事業でやっております。中之藪から説明しますと、中之藪につきましては587万8,000円と金額がありますが、立米単価に直しますと、伐採経費、搬出諸経費まで入れてほしい8,200円かかっております。小椎尾につきましては、面積が0.5ヘクタールですので、経費的に、作業道の修理、それと林内道網、そこの中の搬出路も。そして森林組合が直営班でやっております。受け入れ班と直営班の考えは若干ちがいますので、そこらへんで立米単価が上がってきております。森林組合の場合は組合手数料というのが入ってきますので、運搬の距離とかああいうふうな形で経費が上がっておると。実際に10ヘクタール皆伐するのと0.5ヘクタール皆伐するのでは全然経費的に割高になりますので、そこらへんの関係で搬出経費が高いと。そして収入の話もありま

したけど、収入の場合は実際に庁舎建設の方の材に回しておる関係で、収入が下がってきたと。小椎尾につきましては、60年生から80年生、ひのきの場合100年生ぐらい経っておりますので、間伐した時に、中に傷が付いて、実際に一玉の方は腐れが入っております。いい木ですけど中に、芯の方に腐れが入っておると。そんな状況で、搬出経費に対して収入が少なかったということで、そういうふうな決算による状況になっているというのが現状です。そういう関係で、説明を終わりたいと思います。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 売上が上がらなかったのも、経費が若干悪かったのも、委託ということで、よく理解ができました。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 90ページになりますが、需用費の中の、サルワナの修繕料ということで、5万2,920円金額が上がっております。これは大型罟の修繕と考えておりますけども、近ごろにつきましては大型罟のサル捕獲というのはなかなか聞きません。実際、サルの方も慣れてきたのではないのかなという気がいたします。一方、くくり罟がサルについては効果的だという話を、猟師さんから近ごろよくお聞きするんですけども、そういった中で、サルのくくり罟等についての何か補助等を考えられていないか、伺いたいと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、罟の修繕です。昨年は大型罟につきましては2頭ぐらいしか捕れておりません。実際に猟友会の人に聞きますと、やっぱりくくり罟の方がサルは捕れるということになっております。今、村としても村長とも話しておりますけど、今年か来年は罟の補助をしたいという考えを持っておりますので、その2分の1にするか3分の2にするか、まだ検討ですけど、そういう形で今後、サルとかイノシシ、シカもありますけど、動きたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解いたしました。サルもまだ餌があるらしく、そう大きな被害というのは聞いておりませんが、今後、そういったことも心配されますので、ぜひお願いをしたいと考えます。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではそれぞれ担当課長にお伺いをしたいと思います。96ページになるんですけども、健康増進広場のAED整備ということで、これに関連してちょっと質問させていただきたいと思います。健康増進広場につきましてはこれでAEDが設置されたということによろしいかと思うんですけども、それ以外の施設、公民館であったり運動施設、学校等、AEDが設置してあるかと思うんですけども、先日横野の公民館についてもAEDが電池切れということで、役場の方に問い合わせをさせていただいたことがあったかと思えます。それ以外の施設の今の状況といますか、管理の状況についてお伺いをしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問です。教育委員会の方で所管しております学校それから、所管は違うんですけども公民館、トレーニングセンターの方についてはそれぞれ整備年から台帳をつくっております、それに基づいて管理をさせていただいているところです。公民館の方は今年度コミュニティー助成事業の方で整備をするということで、予算を確保して、むら創生課の方で執行中と考えています。これで整備が終わりますと、当初整備しましたAEDの耐用年数が切れかかっているものについては、ほぼ整備が終わるということ。それから当初整備からすると、今は保証期間が長くなってしまっていて、安心して使えるような形で新しいものが届くのではないかと考えております。小・中学校については前の議会棟でも補正等をお願いしましたが、壊れたものについては随時取り替えて、新しいタイプのものに替えているという状況になっております。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1 番、中武 智和君。

○議員（1 番 中武 智和君） 了解しました。各公共施設等については、おおむね整備がなされているんだろうと思うんですけども、それ以外に、観光施設でとかいろいろなところもあろうかと思imasるので、AEDが設置されているかどうかは定かではないんですけど、例えば温泉館だったり、キャンプ場だったり、百菜屋だったり、そういったところ、あと菊池記念館とかはあるんですかね。そういった必要であらうというような施設がまだ残っているとすれば、そちらの方に積極的に整備を進めていただいた方がいいのかなとも思imasるので、またよろしくご検討をお願いしたいと思imas。以上です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます。

款7 商工費について、質疑はありませんか。97 ページから99 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） それでは、ないようですので、次に進みます。

款8 土木費について質疑はありませんか。99 ページから105 ページ。

○議員（4 番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4 番、濱砂 勝義君。

○議員（4 番 濱砂 勝義君） 100 ページでございますが、土木費ではございません。

その前でございますが、温泉施設の土地の借上料があります。年間12万円ですか、これも10年もすれば120万円になるわけでございますが、できれば譲っていただくといいのではないかと思imasますが、いろいろ理由があるかもしれませんが、できれば譲ってもらいたいなと思imasわけでございますが、いかがでしょうか。担当課長に伺imas。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今のご質問ですけれども、それこそ今年30年度に土地賃貸借の契約を再更新したところす。所有者に毎年1年更新の契約に変えていただくようお願いしたんですけども、ご本人の希望で、10年間の契約を一括でいただきたいと言われましたので、一応10年間はこういった契約になろうかと思imas

ので、10年後か早めにそういったお話をさせていただいて、村の方に譲渡いただけるように打診というか、お願いしていきたくと思います。それが無理の場合はまた今後、10年後でもそういったお話をさせてもらって、更新のたびに譲渡のお話をさせていただきたいと思っています。以上です。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） ぜひ、そういうふうにしていただくとよろしいかなと思います。終わります。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 100ページになりますが、登山口記載台作成設置委託料、それから登山道の看板作成委託料ということで、委託料が計上されてございますけれども、今年も消防が出動して、捜索まではいかれませんでした、山登りをされた方が一時下山をされないという情報が入りまして、準備をしたということもございました。実際、記載台も、これは市房山の登山口ですけども、記載台が風で飛んだと思うんですけども、これを設置をしていただいたと考えますが、皆さん実際に記載されているのかどうか、そのへんのチェックをされているのか。それと義務化としては難しいと思いますけれども、ぜひ書いていただければ、そういった、何かあった時の情報にも役に立つと思いますが、そういったことの周知はされているのかどうかということ。それと登山道の看板については、どの山のどのあたりの登山道に設置をされたか、伺います。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） ご質問にお答えしたいと思います。登山道の記載台につきましては、市房山の1合目、近年増えております、市房山の5合目付近も設置をしまして、安全管理面上、おっしゃるとおり記載をしていただきながら入っていただくために2カ所に、修繕も踏まえまして整備をしたという状況でございます。周知という形では特にやっておりますけれども、問い合わせがあった時に、記載をして登ってくださいというご案内はしているような状況になっております。定期的にといい

とはなくても、1年間を通して毎年、書いていただいたものを山登りの時に回収して、最終的にはチェックを行うということで、今のところはさせていただいているところでございます。

また、看板につきましては、これまでは「何合目」という表示が古くなっていたりということで、各山の1合目から9合目の看板を整備しましたのと、国見山の事故等もございましたので、そちらに矢印を何カ所か設置させていただいたというような整備をしております。今後の案内につきましても、引き続き観光の方でお問い合わせ等があったときにも、注意を喚起したいと思っておりますし、また記載台等の方にもそういう表示もしながらやっていきたいと思っております。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。今後また、紅葉シーズンということで、登山シーズンにもなります。そういった処置、対応をお願いしたいと思います。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 担当課長にお伺いいたします。村営住宅の修繕料ということで104、105ページにわたって修繕が掲載してありますけども、この修繕についての考え方なんですけども、基本的に入居者というのは全館注意義務に基づいて、良好に賃貸物を管理、そこに住まわなければいけないというには多分なっていると思うんですけども、住宅もいろいろと老朽化をしているところもあろうかと思えます。そういった点で、自分で壊したとか、そういったものについては自らで修繕を行っていただくものだと思っているんですけども、老朽化に伴って、例えば雨樋が外れたとか、いろいろ多分あるんじゃないかと思えます。そういったものについては、あくまで入居者が申告をしてきて、それから初めて修繕にとりかかることになろうと思うんですけども、一応村の公共施設でもありますので、やはりこちらからもある程度、どのような住宅がどういう状態なのかというのは、点検、調査なりは1回とは言わないにしても、ある程度の期間を区切ってやってあげた方がいいんじゃないかなと考えて

おるところなんですけども、そういった点について現在取り扱っているか、お伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今のご質問ですけれども、1番議員がおっしゃるとおり、入居者からの連絡がありまして、それで現地まで赴いて、状況等の判断をいたしまして、大工さんとか業者に依頼して、修理等を行っているのが現状です。おっしゃるとおり、中には大分老朽化が進んでいる住宅もけっこうございますので、そういったところを定期的に点検、こちらから住宅に入られている方に一応住宅の状況等の聞き込み等をしてしながら、今後そういった、向こうから修理の依頼を受ける形よりも、こちらからも定期的にそういった住宅のメンテナンスの面でそういった連絡等を、そういった方法で、入居者に住みよい環境で入っていただくという、取り組みでやっていきたいと思っております。以上です。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 了解しました。多分住宅の老朽化に伴う、そういった傷んだ箇所というのは、虫歯なんかと一緒にだと思っているんですよ。放ったらかすと、だんだん朽ちてきて、修理代が余計にかかることになることもあるかと思っておりますので、実際に住んでおられる方が、そんなに不便を感じない程度の修繕箇所というのも、恐らく中にはあるんだと思います。でもそこから、長年にわたって雨水が降り込むとか、そういったので中が腐って、もともとやり直さにかいかんということになりかねないのも、あるんじゃないのかなと、あくまで予想ですけども、そういった点があるかもしれないので、やはり今課長がおっしゃったように、定期的に聞き取りもしくは目視等で、いろいろ点検をしていただければと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） ほかにありませんか。

村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 先ほどの4番議員のご質問で、回答をちょっと修正させていただきます。

温泉施設の賃貸借の契約は、今年契約したということを確認申したと思うんですが、

29年度の契約に訂正させていただきたいと思います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） それでは、次に進みます。

款9消防費について、質疑はありませんか。105ページから107ページ。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 106ページの一番下、備品購入費でございますが、消防車輛の購入費675万円ありますが、どこの部に入れたのかをお聞きしたいと思います。総務課長。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（梅本 昌成君） ただ今の質問にお答えします。消防車の車輛購入費ですが、昨年度は第2部に小型積載車1台、それから第6部に小型積載車とつき小型ポンプ車をいれております。以上でございます。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） わかりました。これでだいたい入れ替えは終わったと思います。あとは本部が残っておりますと思いますが、本部の自動車を見てみますといつも、ポンプを下ろしてあったり、いろいろしてあるわけではありますが、本部というのは初期消火というところで一番先に火事の現場に行かれる部であります。そういう時にポンプ車が、ポンプを下ろしてあったら、それを積み込んでから行くというような感じで、ちょっと時間がかかると。それでは初期消火には、なかなかならないのではないかと考えます。そこで、今度本部に入れる時には、各部と同じような総合自動車、軽トラックを改良して、常時ポンプを積んでいるような消防自動車を購入するのではないかと考えますが、どういう考えをお持ちでしょうか。

○総務課長（梅本 昌成君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（梅本 昌成君） ただ今の質問にお答えいたします。本部の積載車の購入についてですが、本部の一番の役割というのは先陣を切ったの情報収集だと思いま

す。それで、火災の場合には当然そういったことも考えられますけども、やはりそういう情報収集が一番だと思います。各地区にそれぞれの部がありますので、今まではそういう各地区の、各消防団の消火活動に頼っておったということでございますが、今後は、今議員がおっしゃったように、そういった初期消火に想定を見据えた検討も必要になってくるかなと思いますので、今後は消防団の幹部の皆さんとも相談して話をしていきたいということでございます。以上です。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） おっしゃるとおりでございますが、本部の部員も人数がかなり増えました。もちろん情報伝達とかいろいろ、あちらこちらに連絡等あると思います。だけどやっぱり水が出ないことには始まりませんので、何人かでも行ってポンプを据えて、ホースを延長して、他の部が来た時には水がぱっと出せるような体制をつくっておくと、本当の意味での初期消火につながるのではないかと思いますので、そこにもひとつ考慮をいただいて、ぜひ常時積み置きしておられるような積載車を購入されるといいのではないかと考えますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○議員（6番 中武 勝文君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 関連で、今度本部が消防車を購入する計画があるということですが、4部長もおるし、副団長もおられますので、言いたいんでないかと思うんですが、実はこの前4部が総法大会に出場しました。1. 4秒ぐらいの差で負けるんです。それは、シバウラのエンジンがほとんど、うちの消防車はほとんどシバウラなんです。上位入賞したポンプはトーハツなんです。その話を聞いていますと、トーハツとシバウラでは、1秒から1秒半ぐらいの、水の送りの差が出るということを言われて、団長がしんきなもんよなあという話をされておりましたので、できたら、今度本部で購入されるということであれば、トーハツも検討してみたらどうかかなと思いましたので、検討されることをお願ひをしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長(梅本 昌成君) ただ今の質問にお答えいたします。議員おっしゃるとおり、総法大会において、そういう結果であったのは事実であろうかと思えます。それが直接成績云々という話ではないと思えますけども、水が出るのは若干速いということでございますので、今後ポンプの入れ替えについては、そのあたりを検討してまいりたいと思えます。以上です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(濱砂 征夫君) それでは、ないようですので、次に進みます。

款10教育費の質疑を項ごとに行います。

項1教育総務費、項2小学校費、項3中学校費を一括して質疑を行います。107ページから115ページです。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(濱砂 征夫君) ないようですので、次に進みます。

項4社会教育費、項5保健体育費を一括して質疑を行います。115ページから123ページ。質疑はありませんか。

○議員(2番 白石 幸喜君) 議長。

○議長(濱砂 征夫君) 2番、白石 幸喜君。

○議員(2番 白石 幸喜君) 115、116ページになりますが、委託料の学力向上事業委託料、塾、セミナーということで464万5,000円と上がってきております。これは中学校の夏休みの塾等かと思えますけども、3年目を迎えられると思えますが、実際の効果、体験はどのようなものか。体験というか子供たちの変化とか保護者の皆様方の反応というものはどういふものか、お聞きしたいと思います。

それと123、124ページ、山村広場等の電気代等も上がってきておりますけども、需用費等で。電気料等につきましては先ほど総務課長から答弁があったとおりでございますが、山村広場の表土が役場の互助会の皆さんも草刈りをされたり、壮年ソフトボールチームも試合の前等に草刈りをしたり、環境整備をボランティアを兼ねてやっている状況でございますが、実際見られたとおり、かなり雑草が生えてきているという状況でもございます。全面の土地の入れ替えというのは、予算的にかなりかかりますので大変だと思えますが、例えば表土をちょっと削るとかそういったことで、

もっと使いやすいような対応ができないものか、2点について伺いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） お答えいたします。このセミナーと塾についてなんですけど、2本立てになっておりまして、通年やっておりますのが塾でして、月曜日の5時半から7時までやっております。夏季休業中にセミナーを開催しまして、1週間実際に講師にやって来ていただきまして、指導をしていただくという取り組みをしているところでもあります。その成果ということなんですけども、教科としまして、通年の塾では数学をやっているところですが、29年度の全国学力の結果を見ますと、ほかの教科に比べまして、国語と数学をやるんですが、国語よりも成績が伸びているという結果になっております。また、従来ですとA問題とB問題とがありまして、全国的にB問題が低い傾向にあるんですけども、西米良中ではBの方が高いという結果が出ておりました。それから経年で見ましても、数学は約9ポイント、1、2、3年という形で見たところも、伸びが顕著になっているという成果は出ていると思います。また、今年度新たに学校で全国的にやる学力テストの結果で個人別に見てみたんですが、今申したのは全体、と言ってもわずかな人数ですので、母数が少ないので、個人で見たところ、それぞれ伸びている子供たちの数が増えておりまして、特に数学についてです。ほかの教科に比べましても、伸びが見られましたので、ある一定の成果は出ていると、私どもとしては評価をしているところです。ただ学力の全体の状況を見ますと、学年差、またはこの前もお話しましたとおり、個人差というのはありますので、全体で見ると同時に個別に見ながら、その学力の推移というのを見ていく必要があるんじゃないかなと思っています。以上を答弁いたします。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） 続きまして、山村広場の管理のことについて、ご説明したいと思います。議員おっしゃったとおり、役場の互助会、それから壮年ソフトボールチームの皆さんにボランティアで管理をしていただきながら、教育委員会としましては年2回、シルバー人材センターの方にお願ひしまして、草刈り等の管理を行っているところです。確かに、特に内野の周辺のボードが非常に状態が悪くなっておりまして、そういうご要望があるという話も聞いているところです。ただ費用的に、か

なりの額がかかってくるだろうと、私達も認識しておりますので、先日お答えしました体育施設の改修等にかかる補助事業等を有効に活用しながら、年次的に計画的に適正な維持管理ができていけばと考えております。すぐすぐというわけではないですけれども、検討しながら、必要な財源をみつけながら、実施していきたいと考えております。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 塾、セミナー等については効果が現れているということで、了解しました。それから山村広場につきましては、本当に村に唯一のソフトボール等ができる貴重なグラウンドでございますので、ぜひ前向きにしっかりした管理をしていただければと思います。以上です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、次に進みます。

ここでお諮りします。款11災害復旧費、款12公債費、款13諸支出金、款14予備費は一括して質疑を行いたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。

それでは、款11から款14まで、一括して質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、また、聞き漏らしたことがあれば、後は総括でお願いします。

以上で、歳出の質疑を終わり、次に事項別明細書の歳入の質疑を行います。

お諮りいたします。款1村税、款2地方譲与税、款3利子割交付金、款4配当割交付金、款5株式等譲渡所得割交付金、款6地方消費税交付金、款7自動車取得税交付金、款8地方特例交付金、款9地方交付税、款11分担金及び負担金、款12使用料及び手数料は一括して質疑を行いたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。

それでは、款1から款12まで一括して質疑を行います。質疑はありませんか。11ページから17ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、次に進みます。

款13国庫支出金、款14県支出金は、一括して質疑を行いたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、次に進みます。

款15財産収入、款16寄附金、款17繰入金、款18繰越金、款19諸収入、款20村債は、一括して質疑を行いたいと思います。質疑はありませんか。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 34ページになりますが、江戸見物事業パートⅢ参加者負担金70万円、そして関連して江戸見物事業に伴う支援金20万円と金額が上がってきております。この支援金とはどういうものか、まず伺いたいということと、江戸見物につきましても既に精算が済まれたと思いますが、実際どのくらいの費用がかかったのか、伺いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。平成の江戸見物につきましては、今回3回目の事業でございました。収支についてご説明申し上げますが、支出としまして、総事業費が561万7,299円でございます。内訳としましては、531万7,299円が旅行費用、30万円が写真撮影及びアルバムの作成料となっております。歳入としまして、先ほどお話がありました参加者負担金、これが2万5,000円かける28名分で70万円でございます。支援金としましては、森林組合さんより20万円ほどいただいておりますので、それも活用させていただいております、残りの471万7,299円を村有林の間伐材等の財貨で充当させていただいております。以上でございます。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、以上で歳入の質疑を終わります。

それでは最後に、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び付属書類を含めた、全体にわたって補足または総括して質疑をすることにしたいと思います。質疑はありませんか。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 先ほどの教育費の関係で聞き漏らした点がありましたので、1点お尋ねをしたいと思います。小・中学校におけるタブレット端末を使った教育に関してなんですけども、今年度、最近だったと思うんですが、うちの娘がタブレットで宿題が出たということで、持って帰って使ってやっておりました。そういったいろいろ新たな取り組み等をやられながら、多分学力向上のために使われていることと思うんですけども、通常の授業での使い方、それから自宅での宅習等、それ以外にも何かやられているものがあれば、それと今後どのような活用を、新たな取り組みをやられることがあれば、お伺いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） お答えいたします。一番の目的は学力向上ということで取り組んでおりまして、授業で使うのが授業改善という取り組みであります。授業改善はどうつながっていくのかといいますと、子供たちに問題を提示する時に、今まで先生は模造紙に書いたり、いろいろな資料をつかって提示していたんですけども、それがもういっぺんに、リアルタイムに出せる。それから動画でも示すことができるということで、導入の時間が今まで5分ぐらいかかっていたものが、もう1、2分で終わるという形になります。そこで浮いた時間を子供たちの活動に充てていくということで、それから、それぞれの考えを持つ時間に充てたり、ともに学び合う時間に充てるということで、子供たちが興味、関心を持って、そしてお互いの意見を交流しながら学びを進めていくということで学力向上を目指していこうという取り組みが1点であります。

それからもう1つは、タブレットの中にドリルが入っておりまして、そのドリルを個人の進度に合わせて取り組むことができるし、繰り返し練習することができるということで、個別の学習にタブレットを活用するという2本立てで進んでいるところがあります。ところが、学校の時間は限られておりますので、ドリルをする時間がなかなか、高学年になると、または中学校は時間を設定してやっておりますけども、さらに有効に使うためには持ち帰りをしてインターネットにつながなくても活用できるような仕組みになっておりますので、それぞれの取り組むべき内容を個別に持って帰ることもできるということです。宿題というのは今までは一斉に出ておりましたけれども、個別に宿題を出すこともできるような仕組みがありますので、個の能力に応じた学習ドリル、繰り返しをするために持ち帰らせて、今やっているところでもあります。2学期から始めたんですけども、5、6年、中学生に持ち帰って試行していくと。それがうまくいけば、全学年に広げることも可能ではないかなと思っておるところであります。

またほかの使い方につきましては、子供たちが委員会活動で使っていたり、生徒会活動で使ってプレゼンテーションをつくってみんなに提示をしたり、それから全校集会で子供たちが使うとか、保健委員会で使うとか、多様な使い方をしているところでもあります。子供たちが一度あさよむフェスタでも小学校でつくった動画を村民に紹介するという取り組みもしましたけれども、学校だけでなく外にも持ち出して、オフラインでも使えるような取り組みをしながら、子供たちに機器を使う力、情報を収集して加工して発信するような取り組みができると、将来につながる。もっと広い学力につながっていくのではないかなという期待をしながら進めているところでもあります。以上、答弁いたします。

○議員（1番 中武 智和君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 了解しました。プログラミング学習の導入もなされているのもそうなんですけども、もちろん端末を使えるということが今の時代、マストと言っても過言ではないぐらいのことだと思いますので、そういったほかの課題以外にも使われておるといふことでありますので、ぜひそういった形で積極的に、使えるも

のには全て使う形で子供たちに機器を存分に扱えるようにしていただければと思います。また先生方が準備する模造紙とかも全部入るということですので、その部分にかかる時間は割くのかもしれないんですけど、こちらに打ち込む先生方の時間があまり変わらないと、ちょっときついかもしれませんので、そこらへんもまたいろいろと改善等があれば、していただければと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） ほかにありませんか。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 71、72ページになります。すみません、先ほど聞き漏らしておりましたが、次世代育成支援対策費の中で、報酬3万6,000円、それから賃金8,000円予算が組んでありますが、支出済み額が0円、0円ということで、不用額がそのままの予算で上がってきております。これにつきましては、平成28年度におきましても、報酬が3万6,000円、賃金につきましては1万円計上されておりますが、その額がそのまま不用額で上がってきておるといような決算でございました。これは特別な対応の予算なのかどうかということを伺いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） ここで、暫時休憩といたします。

午後3時43分休憩

午後3時50分再開

○議長（濱砂 征夫君） それでは休憩前に引き続き、再開したいと思います

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（吉丸 和弘君） 大変失礼いたしました。先ほどのご質問にお答えをいたします。まず報酬の3万6,000円につきましては、子ども子育て支援計画という計画があるんですけれども、これを見直す時に委員会を開くということで、そういった報酬になっております。その下の賃金8,000円につきましては、子供の一時預かりを行う際に、保育園の先生が対応できない時に、外部の方をお願いをすること

がございます。もともとの保育師の方とかですね。そういった方をお願いする時に賃金を出しているわけですが、ここ1、2年は実績がないということで、不用額であがっているというところがございます。以上です。

○議員（2番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解しました。報酬につきましては、委員会を開催しなかったということ、それから賃金については、外部への支払いがなかったということであります。了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） ほかにございませんか。

これで質疑を終わります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、以上で翻案の質疑は全て終わります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、認定第1号を採決します。お諮りします。本案は、原案のとおり認定することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。従って、認定第1号平成29年度西米良村一般会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり認定することに決定しました。

○議長（濱砂 征夫君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

次の会議は、明日、9月20日午前9時に開きます。議事は、平成29年度各特別会計の決算認定を予定していますので、ご参集願います。

本日は、これで散会します。ご苦労さまでした。

○事務局長（濱砂 雅彦君） 一同ご起立ください。一同礼、お疲れさまでした。

午後3時53分散会